

週刊

愛知民報

2023 年
11月5日
第 2655 号

発行所 日本共産党愛知県委員会
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目 12 番 25 号
☎(052) 261-3461 (代表)
(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063
定価 月 400 円 郵送料 336 円 1 部 100 円
毎週日曜日発行 (第 5 日曜日は休刊)

リニア
新幹線

問題だらけ

東京―名古屋間のリニア中央新幹線建設工事をめぐり環境破壊や作業事故など重大問題が噴出していきます。ＪＲ東海は品川―名古屋間の 2027 年開通は難しいと表明。本紙記者はこのほど「春日井リニアを問う会」事務局の川本正彦さんの案内で、同市内の建設工事現場を回りました。(林信敏)

大深度トンネル 浸水想定区域

春日井市内のリニア新幹線建設計画は、地下 40 メートルを超す大深度トンネルが東西に横断します。市内に駅はなく、非常口が設けられる予定。地下のトンネル工事は、シールドマシンと呼ばれる掘削機が掘り進むとされています。住民はトンネル内を見ることができません。住民が地上から見ることがするのは市内 4 力所に設けられる非常口の建設工事です。



西尾非常口の工事現場

地下のダム

川本さんが「ぜひ見てほしい」というのが神屋地下堰堤（かぎやちかえんてい）です。神屋地域を流れる内津（うつつ）川の伏流水を地下堰堤で地上に導いて農業用水に使う「地下式のダム」。市の都市景観形成建築物に指定されている現役の施設です。



農地を潤している神屋地下堰堤（昭和初期に建造）

工事停止

坂下西工区では、住民からトンネル工事による亜炭鉱跡の陥没、住宅密集地や高層マンションへの影響を懸念する声が出ています。同工区では昨年 2 月にトンネルを掘るシールド掘削機の損傷事故が起き、工事は停止しています。坂下非常口の発生土運搬ダンプの出入口も閉鎖状態です。

残土にヒ素

次は、岐阜県境に近い西尾（さいお）非常口の工事現場。丘陵地

西尾工区のトンネル工事の発生土について伊藤建治共産党市議が市議会で質問したところ、市側はＪＲ東海からの報告として国の環境基準の 3・7 倍のヒ素、2 倍のフッ素があつたと答弁しています。いずれも有害性のある物質です。

災害時どうなる

次は、神領（じんりょう）非常口。ＪＲ中央

春日井リニアを問う会は、「東南海トラフ地震ではリニアが通る甲府盆地や名古屋周辺で震度 6 強が想定される」との地震学者の見解を紹介。「地震発生

リニアを問う

川本さんら春日井リニアを問う会は、「国

春日井市内リニア新幹線建設計画



勝川非常口の工事現場に立つ川本正彦さん

環境整備センターと岐阜県可児市の処分場に搬出されています。工事現場隣接地の地主が用地の提供を拒否したとのこと。「勇気がある」と川本さん。静かな抵抗があるようです。



神領非常口の工事現場（左側）。住宅地（右側）に隣接している。

時にリニアは品川―名古屋間を上下 6 両編成が走行中で、6000 人がトンネル内にいることになる」と指摘しています。大災害時を想像すると、然（り）つぜん（ぜん）とした。 （2 面に関連記事）

春日井工区 住民不安

比例東海ブロック

衆議院議員 党副委員長
もとむら伸子 すやま初美



小選挙区予定候補も
あいさつします

比例東海で 2 議席必ず
山下よしき 副委員長来る

11 月
5 日(日)

午後 1 時 名古屋駅 JP タワー前
午後 3 時 名鉄東岡崎駅前
午後 4 時半 豊橋駅ココラフロント前



日本共産党
街頭演説会